

2021年05月18日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【コロナウイルスワクチン接種】

コロナウイルスワクチン接種の予約が始まっている。

東京と大阪では、大規模の接種会場を設けて、防衛省・自衛隊が運営するようだ。

短期間に、大量のワクチン接種を行うために、できることは、何でもする、という姿勢がうかがえる。

東京オリンピックの評判が悪く、中止を求める声が大きい。

東京オリンピックを実施するためにも、早期にワクチン接種を行いたい、といった政府の思惑が透けて見える。

現政権にしてみれば、コロナウイルス対策を行い、東京オリンピックを開催して、その実績の上に、解散総選挙に持ち込みたいのだろう。

+++++

そのためには、高齢者のワクチン接種を7月中に終わらせたい、と考えている様子だ。

まずは、高齢者のワクチン接種が終わらなければ、次に進めない。

ワクチンが広く行き渡らなければ、集団免疫の獲得には至らず、ワクチンの持つ、本来の効果も期待できない。

集団免疫の効果とは、ワクチンを接種する人が増えて、一定割合の人が免疫を持つと、ワクチンを打たずに免疫を持っていない人がいても、感染するリスクが減少すること、つまり、感染症の流行が抑止されること。

集団免疫を獲得するには、高齢者と医療従事者へのワクチン接種だけでは、足りない。

日本の高齢者の人口比率は高まっているが、高齢者への接種だけでは、コロナウイルスを封じ込めるには至らないだろう。

だから、急ぐ必要がある。

若年層にもワクチンを接種するには、高齢者のワクチン接種を完了させる必要がある。

集団免疫獲得の要件を理解しているので、現政権はワクチン接種に必死なのだろう。

+++++

ワクチン接種の拡大を急ぐものだから、拙速による不具合も多い。

予約システムには「バグ」が多く、例えば、架空の番号でも、予約ができてしまうことが明らかにされた。

架空の番号で、ワクチン接種の予約を行わないように、注意を促しているが、意図的ではなく、結果的に架空の番号（=間違った番号）で、予約を入れてしまうケースもありえるだろう、と危惧している。

+++++

ところで、日本は、コロナウイルスワクチン接種に関しては、米国や欧州に比べて、大きく後れをとった、と言える。

コロナウイルスワクチン接種の程度が、経済活動復活のバロメーターになり得る、といった声も大きい。

しかし、多少の時間的なずれはあるが、つまり、日本のワクチン接種は、欧米に比べて出遅れ感はあるが、日本の感染者数の絶対値は、欧米に比べると、少ない。

それを勘案すると、ワクチン接種の進み具合が、外国為替相場を動かす、メインのテーマにはならない、と考えている。

現時点では、コロナウイルス問題を無視して、外国為替相場に臨むのは、無防備に過ぎるが、さりとて、コロナウイルス問題が最重要課題という訳でもない。

もちろん、無視する訳にはいかないのだが、コロナウイルス問題の向こう側にある、次のテーマ（材料）に注目する必要があると感じています。

+++++

(2021年05月18日東京時間13:15記述)